

2024年3月期第3四半期 決算補足説明資料

株式会社インプレスホールディングス
(スタンダード：9479)

2024年2月13日

免責事項

本資料の取り扱いについて 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性あるいは完全性について、何ら表明及び保証するものではありません。

2024年3月期第3四半期業績

2024年3月期第3四半期業績ハイライト ①

- 第3Qに入り、デジタル広告の回復基調の継続、既刊書籍の減収幅の縮小、第2Qで発生した在庫調整の一巡などプラスの側面が出てきているものの、第2Qまでのメディア事業の大きな減収と第3Qにおけるムックの刊行減やターゲットメディア等の減収が響き、連結売上高は10,996百万円（前期比▲3.8% / ▲435百万円）。
- メディア事業の業績悪化は収益性の高い既刊書籍・電子書籍・ターゲット広告の減収に起因しており、営業利益は▲280百万円（前期比▲654百万円）、経常利益は▲213百万円（前期比▲674百万円）、当期純利益は人員削減等の合理化による事業構造改革費を特別損失として▲136百万円計上したことにより▲423百万円（前期比▲744百万円）と大幅な減益となり、各段階利益で赤字を計上。
- 第3Q（3か月）の営業利益は89百万円の黒字となり、第2Qまでより減益幅も縮小傾向となっている。

2024年3月期第3四半期業績ハイライト ②

- 出版・電子出版は、新刊の刊行遅れはありながら新刊書籍の販売は回復基調も、既刊書籍は前期の商品力の弱さが影響し、減収幅は直近で縮小しているものの、出荷が減少し返品が増加する状況は継続、電子書籍は全体的に弱含みに推移し、売上高5,922百万円（前期比▲4.3%/▲264百万円）。
- ネットメディア・サービスは、ネットワーク広告の回復基調が持続していることに加え、アフィリエイト収入も好調を維持、売上高1,395百万円（前期比+4.0%/+53百万円）と増収幅を拡大。
- ターゲットメディアは、新型コロナを契機とした市場成長が鈍化、ターゲット広告の減少が継続、イベント収入の減収にも波及し、売上高808百万円（前期比▲15.4%/▲147百万円）。
- プラットフォーム事業は、電子コミックPFが前期第2Qに出版社向けサービスの一部が終了したことで調整局面に入り、減収。主力サービスは、人気タイトルの牽引等で想定を上回る推移を維持しているものの、売上高1,946百万円（前期比▲5.1%/▲105百万円）。

2024年3月期第3四半期連結業績

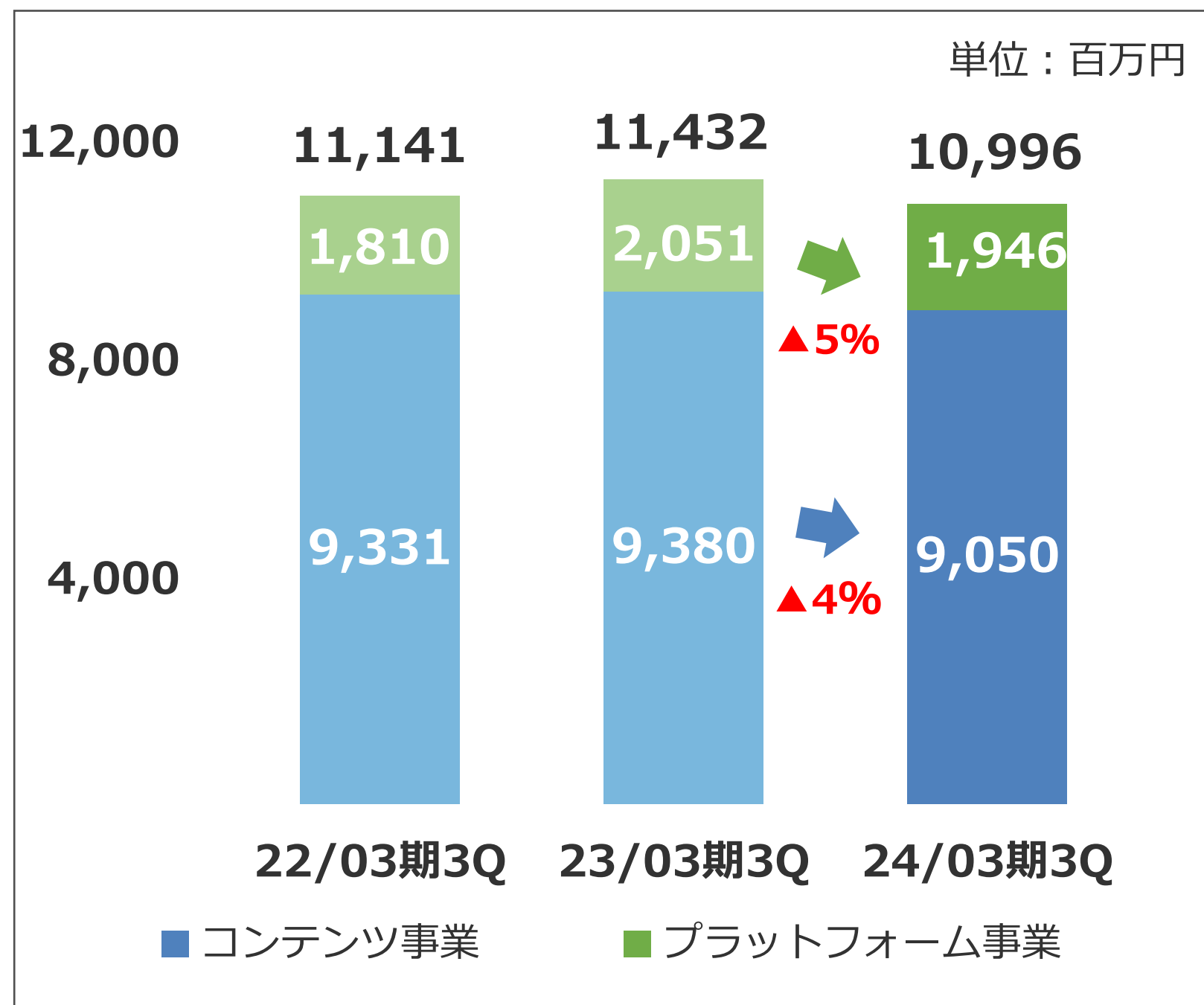
単位：百万円

	23/03期 第3四半期	24/03期(当期) 第3四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	11,432	10,996	▲3.8%	▲435
営業利益	374	▲280	—	▲654
経常利益	461	▲213	—	▲674
当期純利益	320	▲423	—	▲744

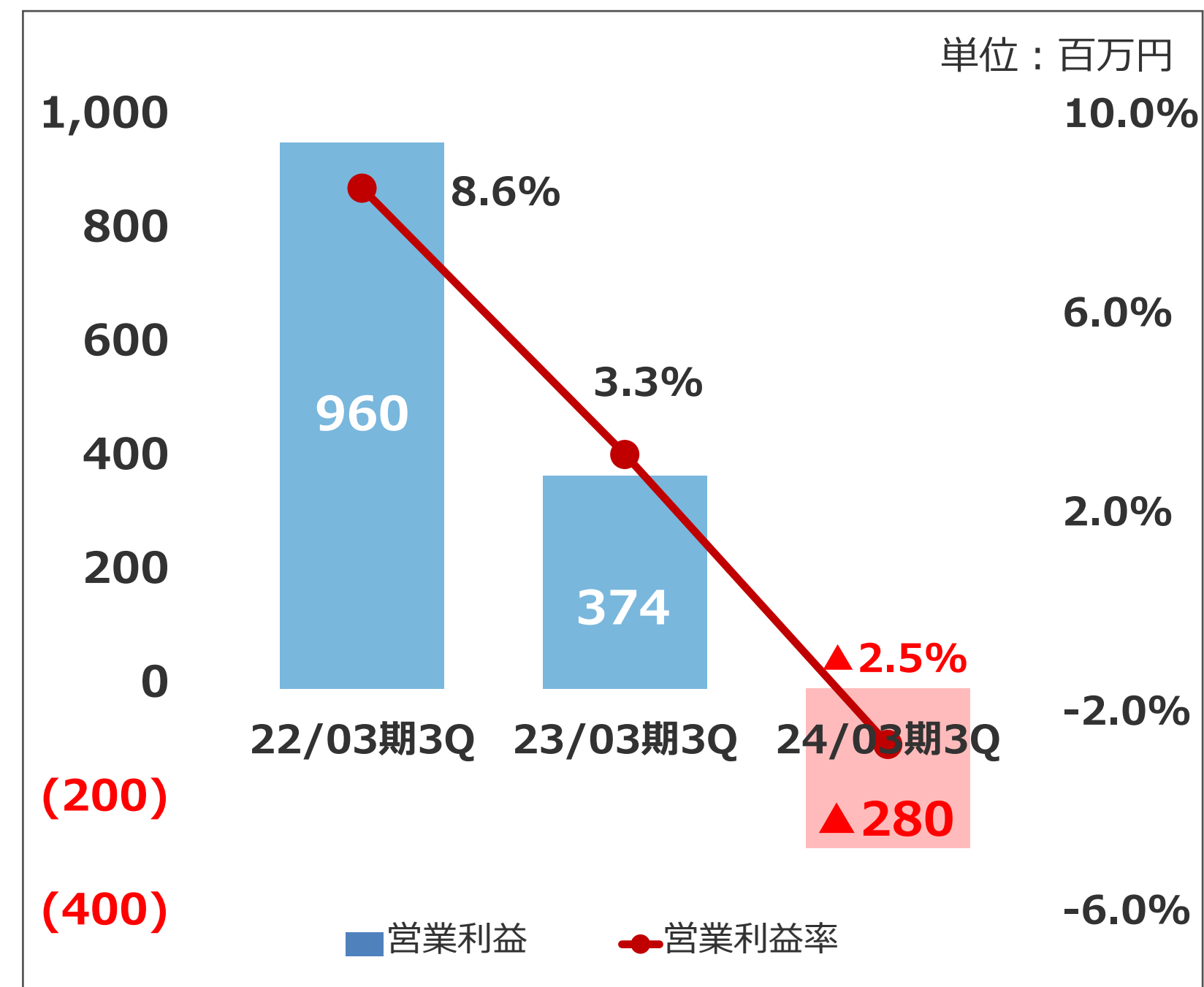
※第3四半期に特別損失（事業構造改革費）▲136百万円を計上。

連結業績推移 (3期比較)

■売上高



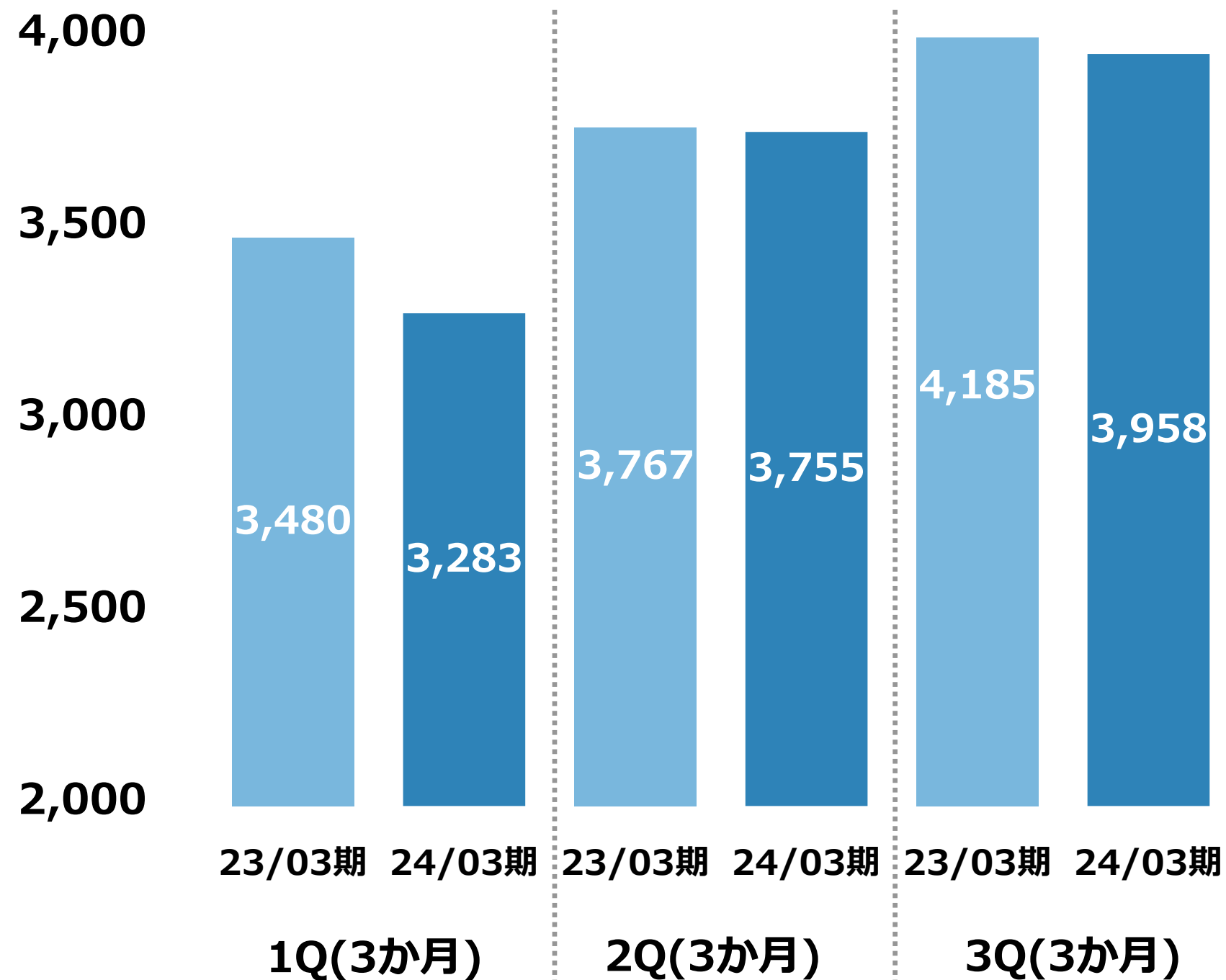
■営業利益・営業利益率



連結業績推移（四半期比較）

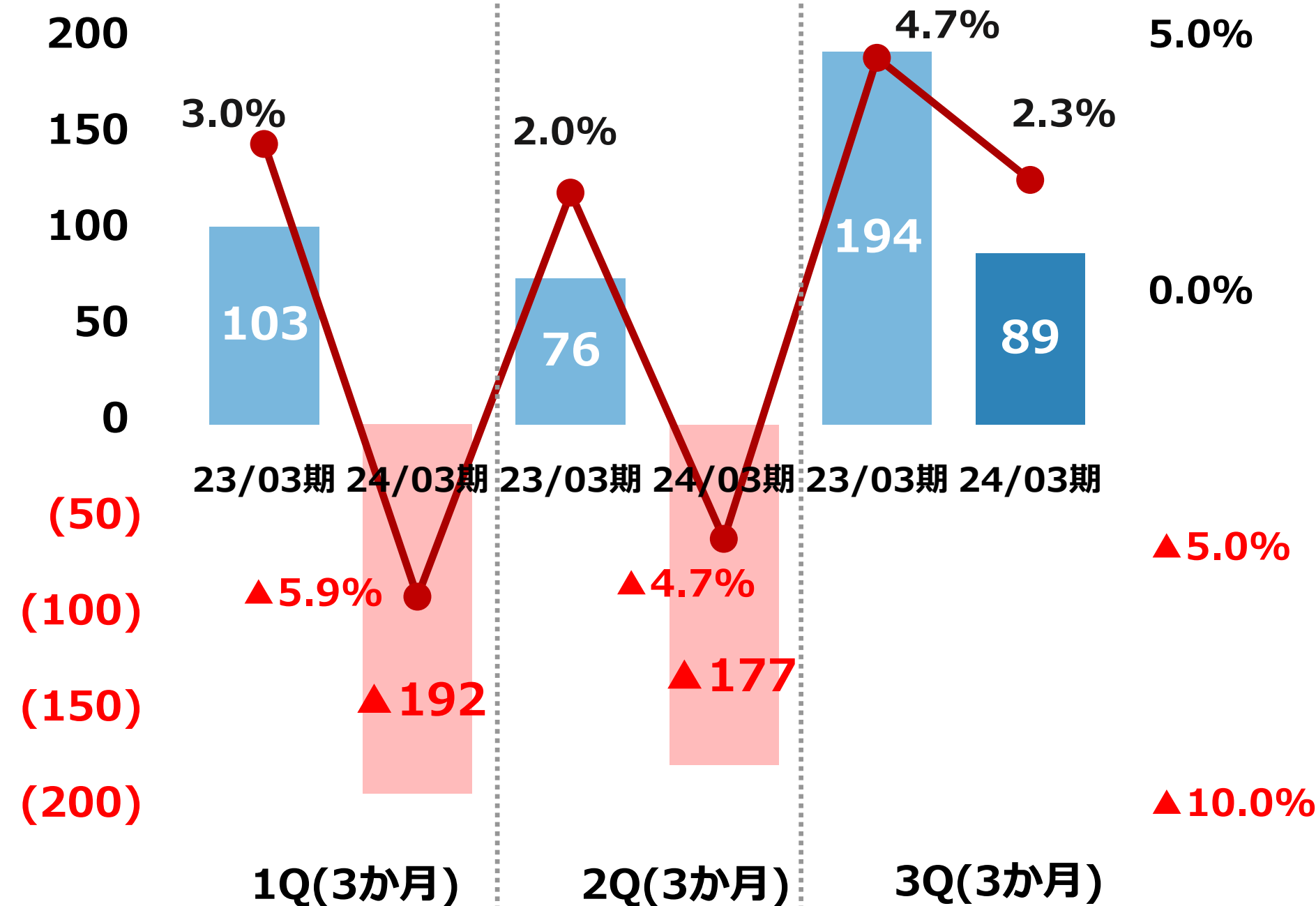
単位：百万円

■売上高



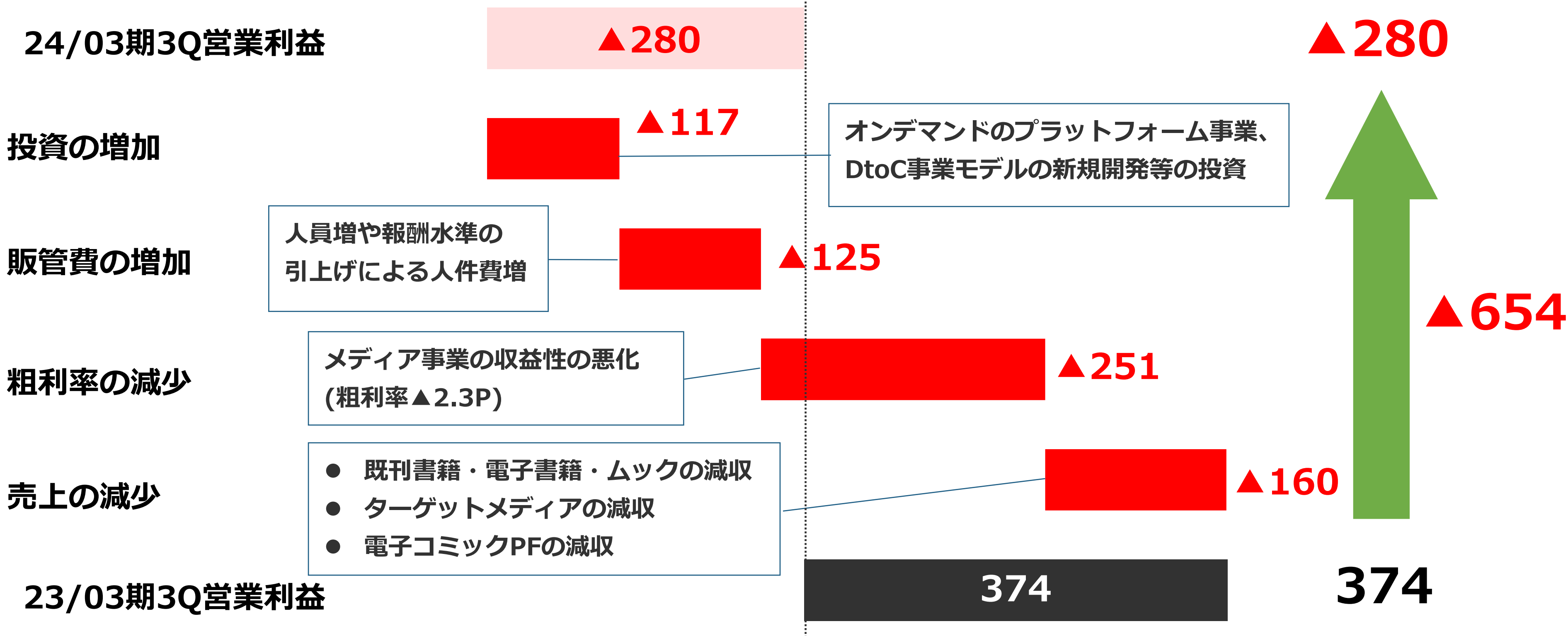
■営業利益と営業利益率

※減益幅は縮小傾向



2024年3月期第3四半期 営業利益の減少要因

単位：百万円



事業区分・セグメント別業績概要

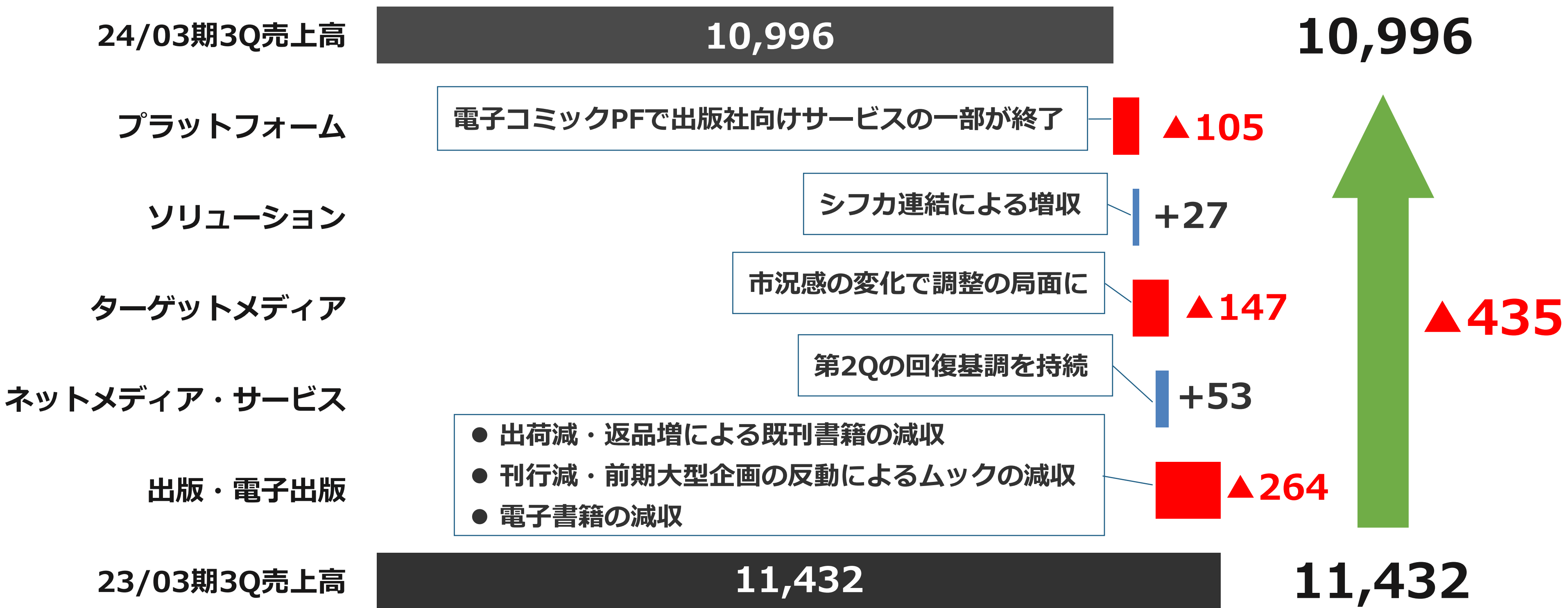
2024年3月期第3四半期 事業区分別売上高

単位：百万円

事業区分	23/03期	24/03期(当期)		
	実績	実績	前期比	
コンテンツ事業	9,380	9,050	▲3.5%	▲330
出版・電子出版	6,186	5,922	▲4.3%	▲264
ネットメディア・サービス	1,342	1,395	+4.0%	+53
ターゲットメディア	956	808	▲15.4%	▲147
ソリューション	895	923	+3.1%	+27
プラットフォーム事業	2,051	1,946	▲5.1%	▲105
合計	11,432	10,996	▲3.8%	▲435

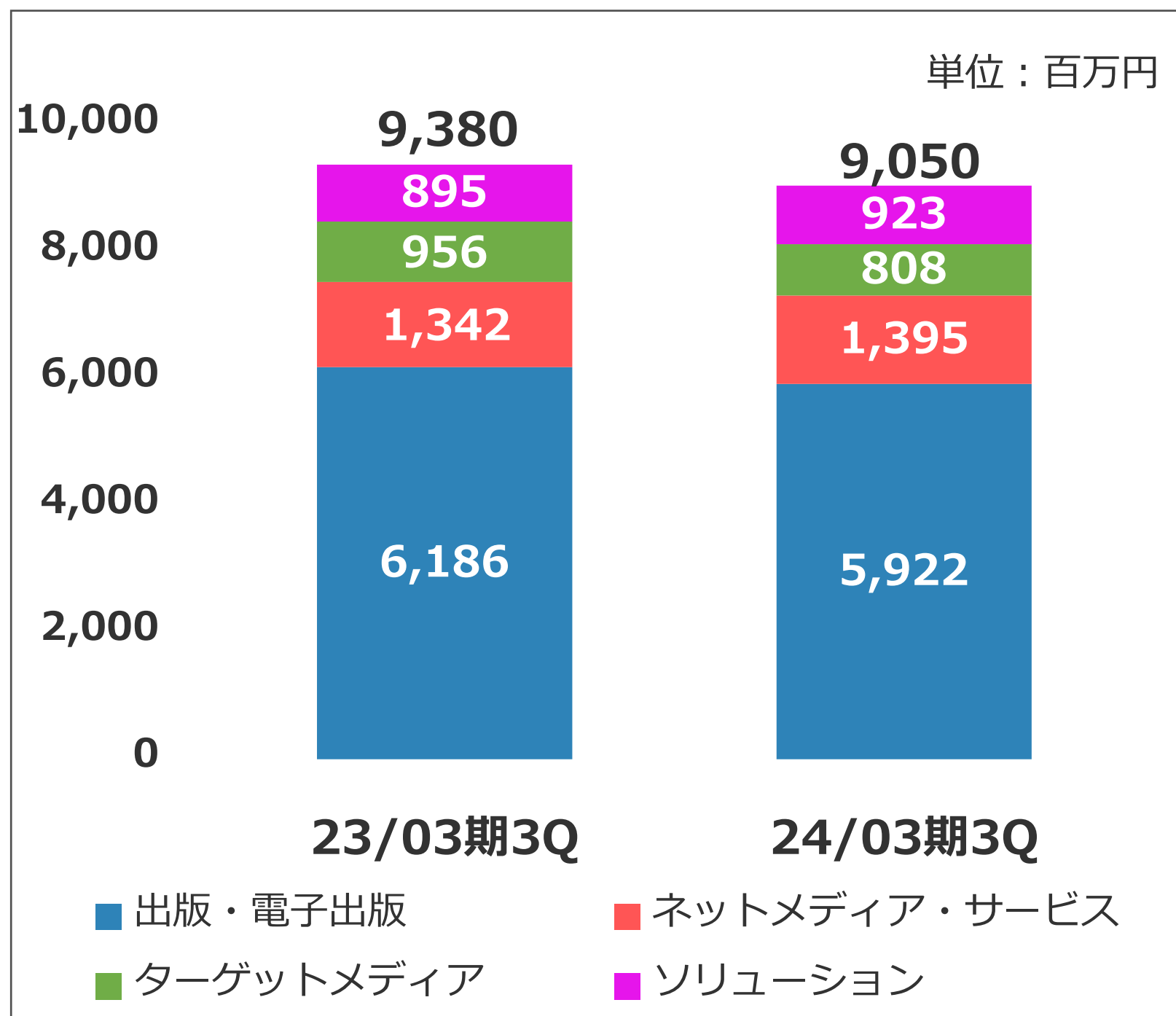
2024年3月期第3四半期 事業区分別売上高の減少サマリー

単位：百万円



2024年3月期第3四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業

■コンテンツ事業売上高



コンテンツ事業：▲3.5%（▲330M）の減収

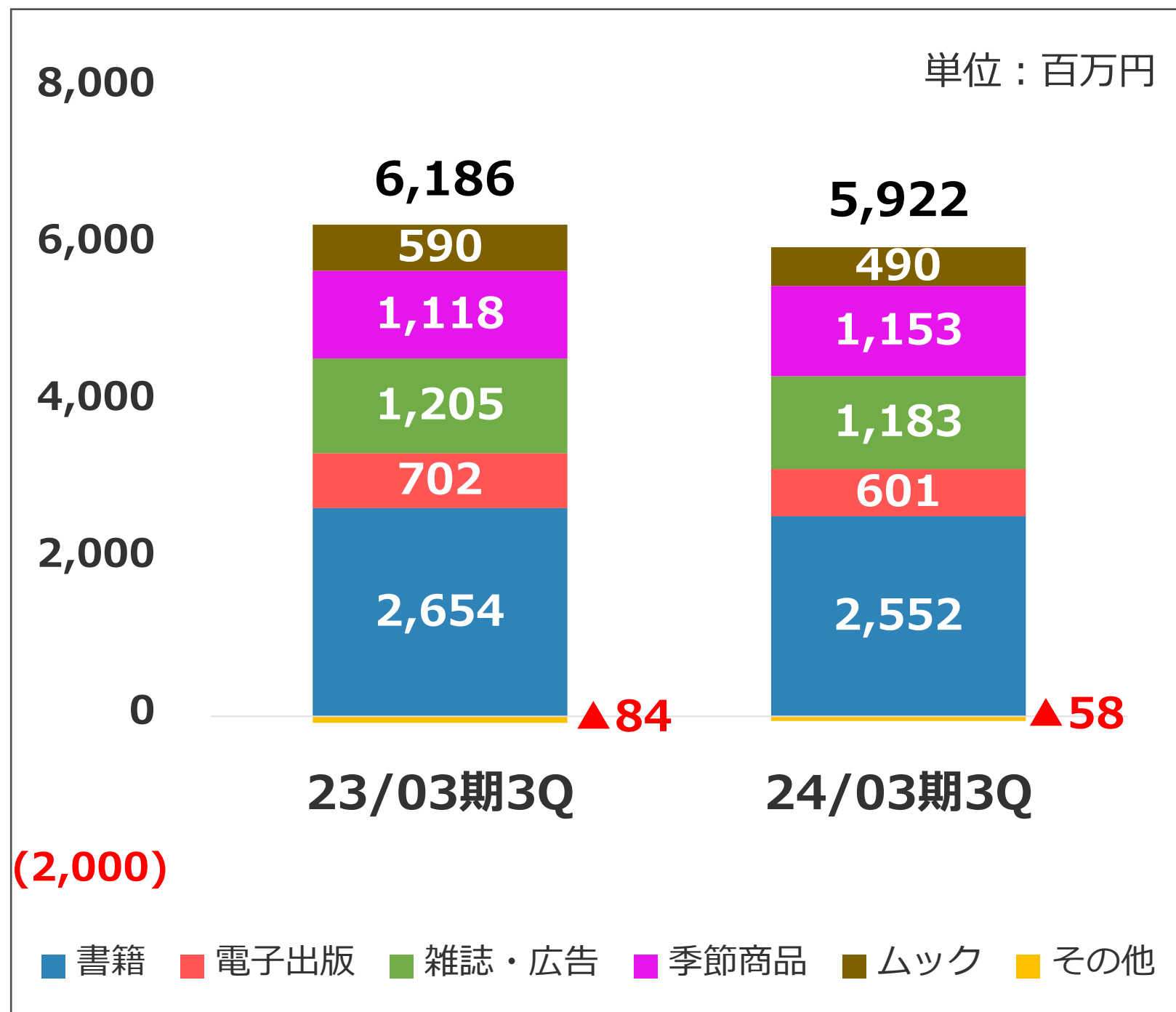
- 出版・電子出版：▲4.3%（▲264M）の減収
新刊書籍は、刊行点数減の中、売れ行き良好書の増加により増収だが、既刊書籍が出荷減・返品増で大幅減収に加え、電子書籍は全体的に弱含みな推移。
- ネットメディア：+4.0%（+53M）の増収
ネットワーク広告の回復基調が持続、アフィリエイト収入の好調も加わり、増収幅拡大。
- ターゲットメディア：▲15.4%（▲147M）の減収
新型コロナを契機とした市場成長が鈍化、ターゲット広告の減少が継続、イベント収入の減少にも波及。

2024年3月期第3四半期 事業区分別売上高：コンテンツ事業_出版・電子出版

■コンテンツ事業：出版・電子出版売上高

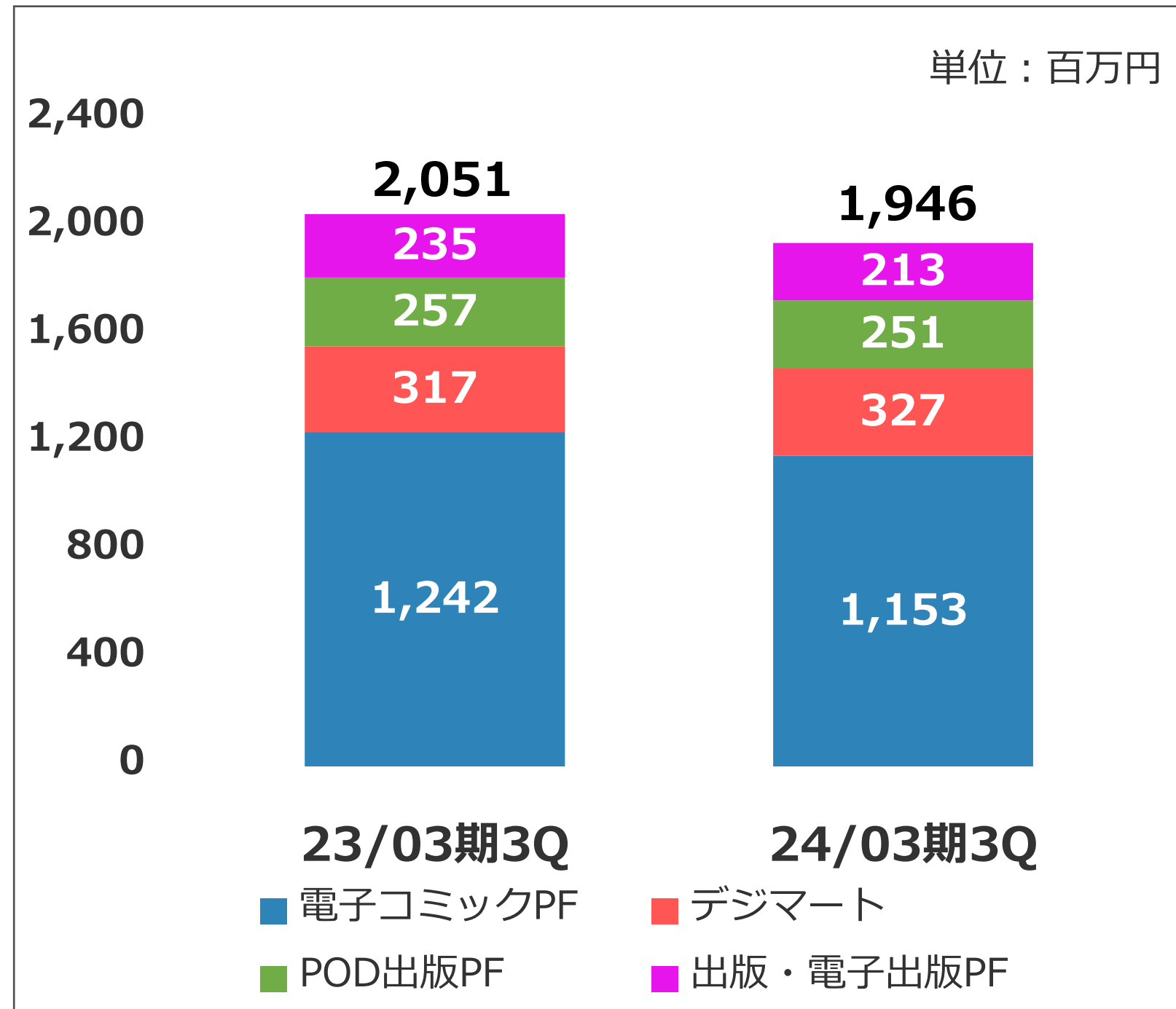
出版・電子出版：▲4.3% (▲264M) の減収

- 書籍：▲3.8% (▲101M) の減収
新刊は、刊行点数減も、売れ行き良好書の増加により増収も、既刊は、前期刊行タイトルの商品力の弱さが影響し、出荷減・返品増となり大幅減収。
- 電子出版：▲14.3% (▲100M) の減収
航空・鉄道セグメントでの展開が拡大、音楽セグメント堅調も全体的に弱含みな推移。
- 雑誌・広告：▲1.8% (▲22M) の減収
刊行数は減少ながら、音楽・山岳セグメントで好調となり販売売上は増加も、広告出稿の減少で減収。
- 季節商品：+3.1% (+34M) の増収
カレンダーの点数増、商品価格を引上げつつ、出荷好調。
- ムック：▲16.9% (▲99M) の減収
航空・鉄道セグメントで、不採算タイトルの整理により、刊行点数が減少したことに加え、前期の音楽セグメントでの大型タイトルの反動により大幅減収。



2024年3月期第3四半期 事業区分別売上高：プラットフォーム事業

■プラットフォーム事業売上高



プラットフォーム事業：▲5.1% (▲105M) の減収

- 電子コミックPF：▲7.2% (▲88M) の減収
出版社向けサービスの一部が終了したことにより減収。主力サービスは好調に推移、海外案件の受注が拡大。
- デジマート：+3.2% (+10M) の増収
取引高が堅調に推移、楽器店からの決済サービス収入が増加。
- POD出版PF：▲2.0% (▲5M) の減収
法人向けPOD出版サービスにおいて、取引出版社数は増加するも、既存出版社の売上が減少。個人向けPOD出版サービスは、利用者数は堅調に推移するも、ヒットタイトルに恵まれず減収。
- 出版・電子出版PF：▲9.0% (▲21M) の減収
パートナー出版社の取扱減により手数料収入等が減少。

2024年3月期第3四半期 セグメント別概況

- メディア事業の厳しい動向を受け、全セグメントが減益となる厳しい結果となった。
- 最も減益幅の大きいITは、デジタル広告が復調し増収も、出荷減・返品増により既刊書籍が減収、ターゲット広告・イベント収入が減収と、収益性の高い事業の減収幅が大きかったことに加え、販売管理費の増加により、大幅な減益となった。
- 出版事業を収益基盤とする山岳・自然、デザイン、音楽においても減益の結果となった。山岳・自然は新刊書籍、雑誌、季節商品が堅調で増収も収益性の高い既刊書籍の減収により減益、デザインは収益性の高い既刊書籍と電子書籍の減収で減益、音楽は増収も販売管理費の増加で減益となった。
- 事業構造改革フェーズにある航空・鉄道は、不採算な雑誌・ムックの刊行タイトルを整理しながら電子出版・書籍の拡大で増収も、売上原価と販売管理費の増加で減益となった。
- モバイルサービスは、出版社向けサービスの一部が終了する調整局面で減収減益も、主力サービスは好調な推移を維持、海外案件の受託拡大もあり、想定を上回る推移となった。
- その他は、プラットフォーム事業等の新規開発に伴う投資で減益となった。

2024年3月期第3四半期 セグメント別売上高・セグメント利益

単位：百万円

セグメント区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前期比	金額	前期比
IT	4,670	▲2.9%	389	▲341
音楽	1,441	+2.9%	▲97	▲18
デザイン	575	▲22.9%	▲109	▲41
山岳・自然	1,367	+3.2%	▲6	▲42
航空・鉄道	1,013	±0.0%	▲178	▲85
モバイルサービス	1,273	▲9.2%	279	▲34
その他	1,198	+8.0%	▲128	▲111
全社 + 消去	▲543	—	▲429	+22
合計	10,996	▲3.8%	▲280	▲654

2024年3月期 連結業績予想の修正

2024年3月期 連結業績予想の修正について

- 当第3四半期連結累計期間は、ネットメディア及びプラットフォーム事業が想定を上回るも、利益率の高い既刊書籍が、前期の商品力の弱さの影響で出荷減・返品増。上半期の新刊刊行遅れの挽回を目指したりカバーリー施策の遅れや、新型コロナを契機とした電子書籍やターゲットメディアの市場成長に対する鈍化も重なり、売上・利益ともに想定を大きく下回る業績進捗。
- 厳しい業績動向を勘案し、不採算事業の整理や人員合理化等の**事業構造改革**を実施。
- 第4四半期（3ヶ月）は、事業構造改革の実施に伴う編集者の人員減で、書籍等の刊行点数が大幅に減少する見通しとなること、ターゲットメディアのイベント・セミナーが当初の想定を下回る見通しとなることから、売上・利益ともに下方修正。
- また、当期末において、将来の収益改善が見込まれる不採算事業の見直し等に係る特別損失（概算200百万円）の計上も検討していることなどを勘案し、通期連結業績予想を下方修正。

2024年3月期 事業構造改革費の内容について

- 業績の厳しい出版事業を主とした3社について、早期の収益改善を目的に、事業構造改革の一環として人員削減等の合理化施策を第3四半期に実施。事業構造改革費として136百万円の特別損失を計上した。
- 通期においては、将来の収益改善が見込まれる不採算事業の見直し等に係る特別損失（概算200百万円）も加味し、通期では336百万円程度の特別損失を想定。

2024年3月期 連結業績予想の修正内容

単位：百万円

※23/8公表の修正予想から変更

	通期			上半期			下半期		
	今回修正	前回発表	増減	実績	前回発表	増減	今回修正	前回発表	増減
売上高	14,400	15,500	▲1,100	7,038	7,150	▲111	7,361	8,350	▲988
営業利益	▲360	150	▲510	▲370	▲250	▲120	10	400	▲389
経常利益	▲250	250	▲500	▲333	▲200	▲133	83	450	▲366
当期純利益	▲700	100	▲800	▲371	▲250	▲121	▲328	350	▲678

2024年3月期 連結業績予想の修正内容：前期からの増減

単位：百万円

	通期			上半期			下半期		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	14,400	15,161	▲761	7,038	7,247	▲208	7,361	7,913	▲552
営業利益	▲360	386	▲746	▲370	179	▲549	10	206	▲196
経常利益	▲250	494	▲744	▲333	213	▲546	83	281	▲197
当期純利益	▲700	375	▲1,075	▲371	147	▲518	▲328	228	▲556

2024年3月期 連結業績予想の修正内容：前期からの増減

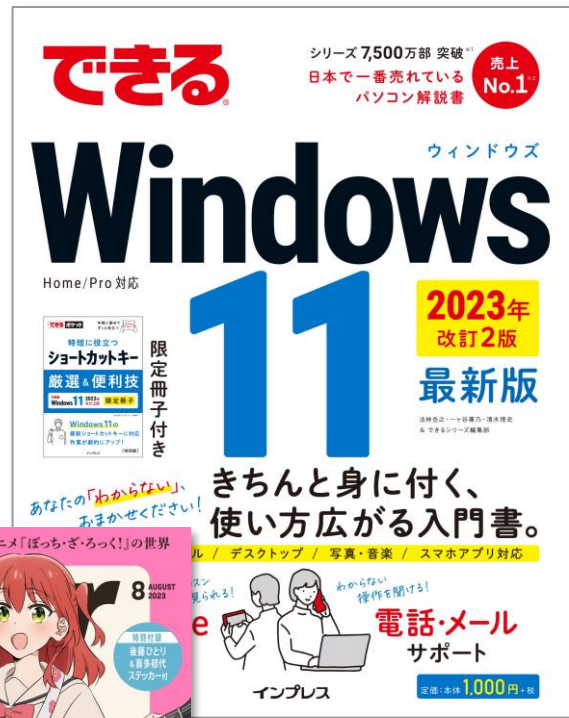
単位：百万円

	通期			1~3Q			4Q		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	14,400	15,161	▲761	10,996	11,432	▲435	3,403	3,728	▲325
営業利益	▲360	386	▲746	▲280	374	▲654	▲79	11	▲91
経常利益	▲250	494	▲744	▲213	461	▲674	▲36	32	▲69
当期純利益	▲700	375	▲1,075	▲423	320	▲744	▲276	55	▲331

(参考資料) 当社グループの概要

当社グループの「セグメント」と「事業」





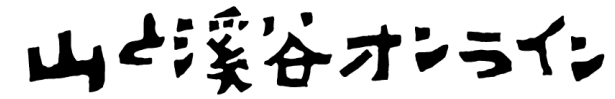
専門書籍・雑誌

電子書籍

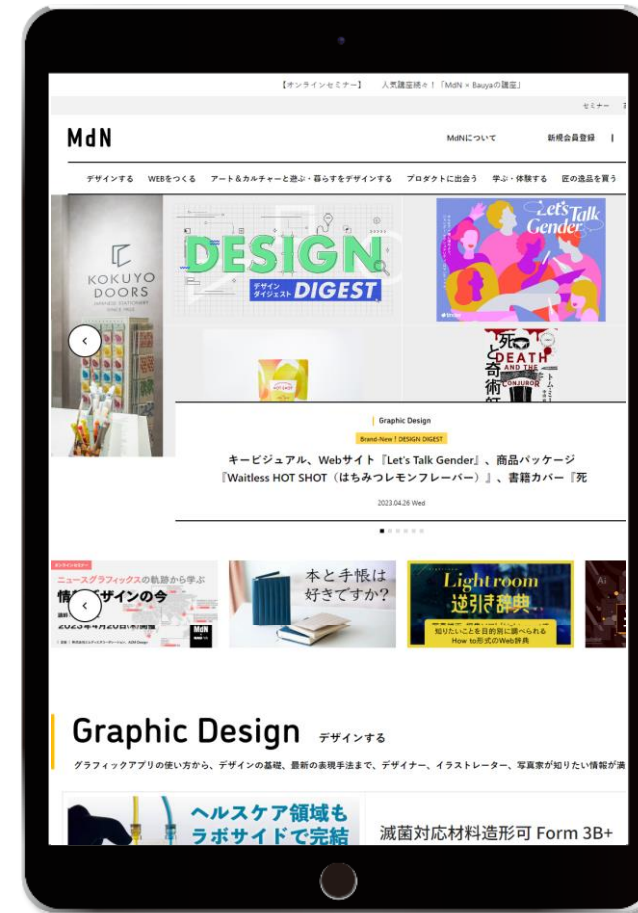
年賀状ムック
カレンダー



デジタル総合
ニュース



登山



デザイン

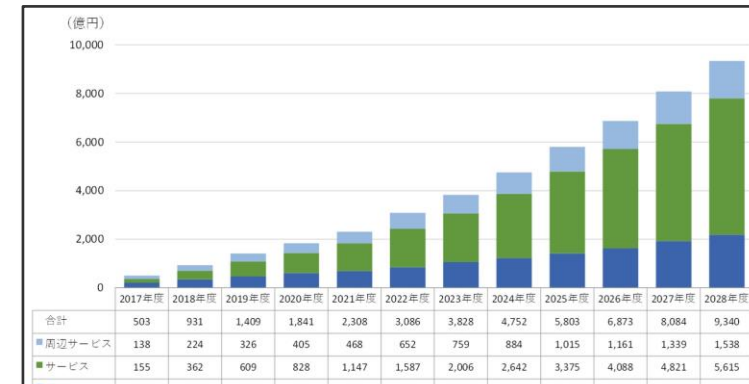


音楽

IT Leaders



ビジネスメディア



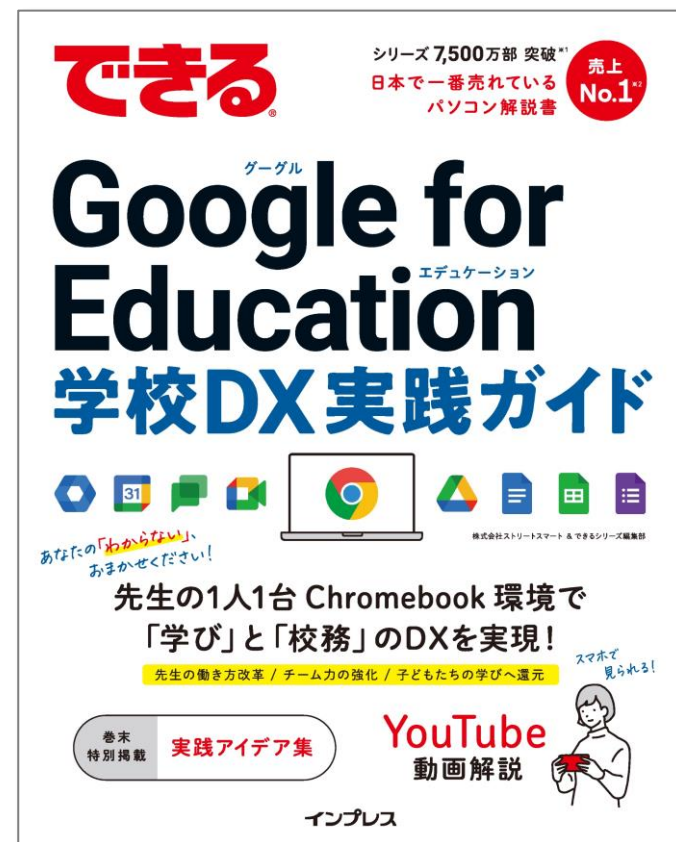
ドローンビジネス調査報告書 2023
Drone Business Research Report 2023
著者 久徳/青山 拓介/インプレス総合研究所 (編)

調査報告書



イベント・セミナー

コンテンツ事業 [ソリューション事業]



公財) 神奈川県観光協会

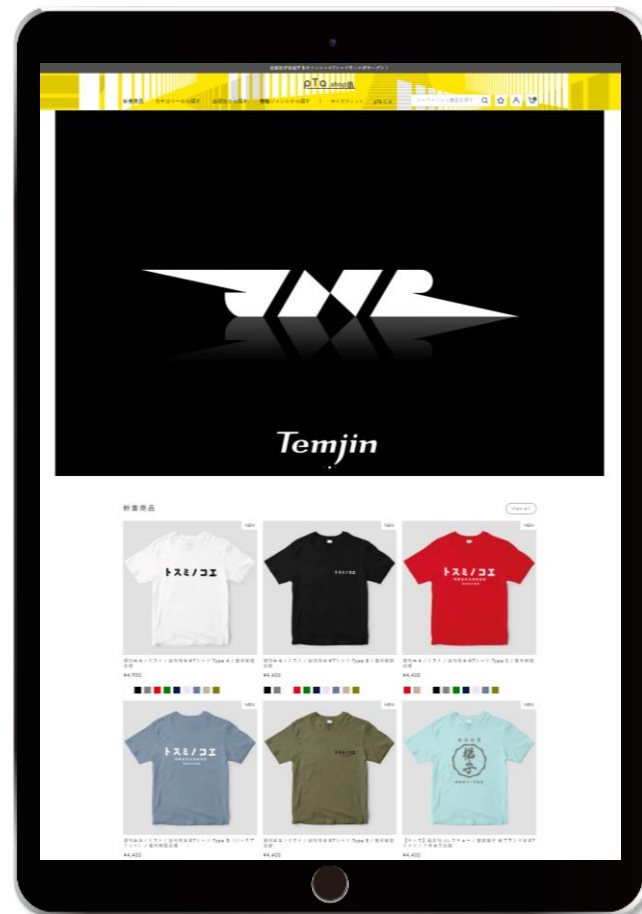
企業・自治体等のSP・PRツール、Webサイト等の制作受託

プラットフォーム事業

pTa.shop

楽器探そう!
デジポト

PUBFUN



EC
プラットフォーム

電子コミック
プラットフォーム

POD出版
プラットフォーム